

8-4-29 参加型計画専門委員会

1. 主な活動の記録

本専門委員会は、公共事業における市民参加のあり方と建設コンサルタントの対応検討を目的として、平成17年より活動をしている。

(1) 委員会の開催

令和7年度の活動は、専門委員会を10回開催、講習会1回、勉強会3回開催した。主な活動は、下表の通りである。

表1 専門委員会の開催と主要活動状況

回数	日付	活動項目
1	4/18	年度計画の設定とWG取組方針
2	5/13	勉強会・講習会の今期開催方針
3	6/17	各ワーキングの活動方針
4	7/23	勉強会の企画検討
5	8/26	勉強会の実施計画
6	9/19	勉強会の資料構成等確認
7	10/14	講習会の企画検討と資料構成
-	10/21	ICTを活用した避難計画に関する勉強会（会津若松市）
-	10/26	ICTを活用した街づくり小諸駅前社会実験視察勉強会
8	11/11	講習会の実施計画
-	11/21	地方小都市における地方創生DAOに関する勉強会
9	12/16	勉強会の報告と講習会内容確認
10	1/21	講習会の最終確認
-	1/21	専門委員会講習会の開催
-	3/16	幹事会：次年度の活動について

(2) 活動概要

多様化する社会ニーズに対応する市民参加のあり方を検討するため、ICTや地方創生DAO※を活用した市民参加型まちづくりの事例調査、ならびに「推し活」と関係人口づくりに関する事例調査を実施し、勉強会を開催した。さらに、これらの成果をとりまとめ、講習会を開催した。

また、ホームページを活用した広報活動を実施した。閲覧者は97,000ビューを超えた。

勉強会、講習会等の個別活動内容は、以下の通りである。

a) ICTを活用した個別避難計画に関する勉強会（会津若松市）（10月）

ICTを活用した参加型防災計画の実施事例として、会津若松市の取り組みを取り上げ、関係者にヒアリングを行った。その結果、事例の特徴を把握するとともに、今後の展望や市民連携の留意点等について議論した。

b) ICTを活用した街づくり小諸駅前社会実験視察勉強会（10月）

ICTを活用して参加型による様々な取り組みを産官学で進めてきた、小諸駅周辺の取り組みや社会実験を視察し、活動や今後の展望についてヒアリングを行った。

c) 地方小都市における地方創生DAOに関する勉強会（11月）

新たな地域づくりの手法である「地方創生DAO※」の事例収集を目的として、塩尻市のNPO法人MRGURUを訪問し、現地調査及びヒアリング・意見交換を行った。

d) 参加型計画専門委員会講習会（1月）

上記の視察・ヒアリングの成果をとりまとめ、研究報告として紹介した。また、島根県立大学地域政策学部の田中准教授を招いて、「人口減少時代と関係人口」と題した講演会を開催し、参加型計画の新しいアプローチについての意見交換を行った。Webとの同時開催とし、145名が参加した。

※特定の管理者を置かず、ブロックチェーン技術を活用して参加者同士の投票により意思決定し、事業やプロジェクトを推進する組織を目指す。

2. 次年度の活動について

行政・市民・事業者等が協働して実施する新たな参加型計画の内容や建設コンサルタントの役割、対応すべき技術や連携技術等について、外部との勉強会も開催しながら検討する予定である。

（参加型計画専門委員会委員長 伊藤 将司）